

7月 ほけんだより

2021年7月1日発行
新川崎みらいのそら保育園

日に日に暑さが増していき、梅雨が明けると本格的な夏の到来となります。夏場は暑さで体力を消耗しやすいです。十分な睡眠と食事をとり、体調管理に気を付けて元気に夏を過ごしましょう。また、感染対策としてマスクを着用していると思いますが、屋外では人との距離をとった上でマスクを外し、こまめに水分補給をとり熱中症予防に努めましょう。

～夏風邪について～

咽頭結膜熱(プール熱)

- ◎38～40℃の高い熱が数日続くことがある
- ◎のどが痛む
- ◎白目の充血、まぶたの腫れ、涙や目やにが出る

【登園再開の目安】

- *発熱、のど及び目の発赤消失後2日経過したら
- *登園時、**登園許可書が必要**

ヘルパンギーナ

- ◎口の中、のどに白っぽい水ぶくれができる
- ◎高熱が数日続くことが多い

【登園再開の目安】

- *発熱や口の中の水ぶくれ・潰瘍が治まり、普段の食事がとれるようになったら
- *登園許可書は不要だが、登園は医師の判断による

手足口病

- ◎口の中に赤い水疱ができ、飲んだり食べたりするのをいやがる
- ◎手のひらや足の裏に赤い水疱ができる
- ◎発熱がでることもある

【登園再開の目安】

- *発熱や口の中の水ぶくれ・潰瘍が治まり、普段の食事がとれるようになったら
- *登園許可書は不要だが、登園は医師の判断による

とびひ(伝染性膿痂疹)

のう か しん

潜伏期間=2～10日

かき壊して傷になったところに細菌が入り込むことで、接触感染する。

【登園目安】
皮膚が乾燥してるか、患部をガーゼで覆うことができれば登園可能。

米粒大の水疱ができ、うみを持ってかゆくなる。かいたり服が擦れたりして水疱が破れ、菌を含んだ液が飛び散り広がる。かいた手でほかの部位を触ることも広がっていく。

かさぶたになると炎症が強く、リンパ節が腫れたり、発熱やのどの痛みが出たりする。

まうちでケア

- *かき壊すので、つめを短く切りましょう。
- *患部はこすらず、せっけんを泡立ててやさしく洗い、シャワーで流しましょう

【予防チェックリスト】

- ていねいに手洗いをする
- 皮膚を清潔にしておく
- つめを短く切る
- タオルの共用は避ける

今年度も熱中症予防のため、環境省発表の暑さ指数と園庭の測定値をもとに活動していきます。暑さ指数については園内掲示をご覧ください。室内や車内でも熱中症になることはあります。衣類の調節やこまめに水分補給を行い、お子さんがいつもと違う様子ではないか確認しながら過ごしましょう。

6月の報告

- * 流行性感染症の発生はありませんでしたが、6月上旬は0, 1, 2歳児クラスで発熱での欠席・降園者が多くいました。
- * 虫刺されから、とびひになるお子さんが多くみられました。
- * 8日: 歯科健診(全園児)
当日結果を配布しています。確認してください。
- * 10・11日: 身体測定
- * 18日: むし歯予防についての三者連携集会
- * 22日: 内科健診(全園児)

7月の予定

- * 9日: 身体測定0～2歳児クラス
- * 12日: 身体測定3～5歳児クラス
- * 熱中症予防についてのお話を幼児クラス対象にする予定です。